

第6回 府中市男女共同参画推進協議会 議事録

- 日 時 平成29年2月10日（金）午後4時半～6時半
- 会 場 府中市役所北庁舎3階第6会議室
- 出席者 (委員)
諸橋会長、内海副会長、賀屋委員、小島委員、小林委員、芝辻委員、
高橋委員、内藤委員、矢島委員、谷田部委員、横山委員
(事務局)
中川市民協働推進本部長、岩田市民活動支援課長、松本市民活動支援課長補
佐兼男女共同参画担当副主幹、肥後男女共同参画推進係長、武富事務職員
- 欠席者 宮浦委員
- 傍聴者 なし
- 議 事 1 審議事項
(1) 府中市男女共同参画の推進についての報告書（案）について
(2) 平成29年度府中市男女共同参画市民企画講座事業について
- 資 料 1 府中市男女共同参画の推進についての報告書（案）（資料1）
2 平成29年度府中市男女共同参画市民企画講座事業申請一覧（資料2）
3 府中市男女共同参画市民企画講座事業選考点数配分表（資料3）
4 府中市男女共同参画市民企画講座事業選考採点表（資料4）

開会

【会長】

これより、第6回府中市男女共同参画推進協議会を開会いたします。事務局から本日の委員の出席状況等についてご報告をお願いします。

【事務局】

本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。本日の出席状況ですが、宮浦委員より欠席のご連絡をいただいております。また、内海委員、矢島委員、横山委員からは遅れる旨の連絡をいただいております。現在、定数12名中8名の委員に出席をいただいておりますので、本協議会は有効に成立しておりますことをご報告いたします。また、本日は傍聴の申込みはございませんでした。

次に資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

【会長】

前回12月16日に行われました第5回協議会の議事録につきまして、事前にご確認をいただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。特にないようでしたら、協議会議事録として確定させていただき、事務局は公開の手続きをお願いいたします。

続いて、次第の1審議事項（1）府中市男女共同参画の推進についての報告書（案）について、事務局よりご説明ください。

【事務局】

資料1をご覧ください。目次とはじめににつきましては、昨年度と同様となっております。次の、1 府中市男女共同参画計画の推進について（1）府中市男女共同参画計画推進状況報告書に関する第三者評価でございますが、5ページの文章は事務局案を会長に確認していただいたものでございます。6ページから63ページまでは、前回までの協議会でご確認いただきました第三者評価でございます。

【会長】

5ページが全体の講評で、6ページからは皆様にご協力いただいた第三者評価です。ポイントとしては、政策課と広報課にヒアリングを行った点、重点項目について良い記述が増えてきたものの「目標設定が困難」と書いてくるものがあるのももう少し考えてほしいということ、男女共同参画都市宣言の文言も加えました。他には、前はゼロであったB評価が2事業あったことは多少向上が認められると思います。改善策等の提言につきましては、皆様から色々なご意見をいただいて、担当課が考えたり反省したりしやすいものになっているかと思っております。いかがでしょうか。各部署はこれを見ていただいて、一層の奮起をしていただけるでしょうか。

【委員】

下から5行目の「数値的な目標設定が困難な事業についても、男女共同参画の推進が図られているか判断ができる目標設定を」という部分ですが、この「判断ができる」というのを協議会だけではなく市民の方にわかっていたくという意味で、「男女共同参画の推進が図られているか」の前に「市民の皆さんにも」と入れてはいかがでしょうか。

【会長】

そうですね、「数値的な目標設定が困難な事業についても、市民の皆さんが男女共同参画の推進が図られているかが判断できる～」と入れた方がわかりやすいですね。

【委員】

今のところの上で、「数値目標の設定は困難」「事業の性質上、数値目標の設定はなじまない」と同じことを2回言っているのですが、それはおっしゃっている課によって言い方が違うだけで、「事業の性質上、数値目標の設定は困難」もしくはなじまない等としてはいかがでしょうか。

【会長】

後ろの方が詳しく言っているので、後ろだけ残すようにしても良いかもしれませんが、色々な書き方をしてくれているということで、同じ意味であっても事例として挙げているのだと思います。二つ並べるか、一つにしてしまうか。色々な言い回しがあるから、二つ並べた方がリアリティはあると思いますが。

【委員】

そのまま持ってきたというところに意味があると思います。

【会長】

こう記入されている事例ということで二つあっても良いと思いますので、そのままにしましょう。他にはいかがですか。

【委員】

下から2行目にある「男女共同参画都市宣言をしている府中市における」という文章のつながりをもう少しすっきりした感じにしたいですね。「男女共同参画宣言都市府中市として～」という言い方はいかがですか。

【会長】

「男女共同参画宣言都市である府中市」、「男女共同参画宣言都市・府中市」、どのようにつなげるのがよろしいでしょうか。

【委員】

括弧の中に入れてしまって「男女共同参画宣言都市府中市」と強調してはいかがでしょう。

【会長】

『男女共同参画宣言都市府中市』として、とすると男女共同参画宣言都市が浮き彫りになって良いのですが、「男女共同参画宣言都市府中市」とつながってしまうのが気になりますね。あとは、「男女共同参画宣言都市である府中市における～」とするとか。

【委員】

「男女共同参画宣言都市府中」では駄目でしょうか。

【会長】

宣言したのは市ですからね。

【委員】

「改善すべき点は改善して」の後に、「府中市は男女共同参画宣言都市としてまちづくりを実現するための施策がさらに～」としてはいかがでしょうか。

【委員】

そうすると主語が二つになってしまいますね。

【委員】

その前の「各事業担当課におかれましては」を「府中市は」としても良いかもしれませんがね。

【委員】

文章を二つにして、「各事業担当課におかれましては、これらの提言を次年度からの事業に積極的に反映していただき、」と切ってしまい、「府中市は～」とつなげてはいかがでしょうか。

【会長】

「各事業担当課におかれましては、これらの提言を次年度からの事業に積極的に反映し、改善すべき点は改善し、男女共同参画宣言都市府中市が男女共同参画のまちづくりを実現するための施策をさらに推進されることを期待します。」にしましょうか。

かぎ括弧もなく大丈夫ですね。よろしいでしょうか。では、また65ページからは事務局から説明いただきましょう。

【事務局】

2 男女共同参画の推進に関する事項について、66ページからの文章につきましては、事前に皆様にお送りした文章であり、事務局案を会長に確認していただいたものになります。

【会長】

先ほどこれに少し付け加えたのですが、今皆さんに配れますか。

(該当部分を追加配付)

【事務局】

ただ今お配りしたものについてご説明いたします。

(1) 「女性センター」施設名変更について

平成7年(1995年)の開館以来現在まで、府中市は「女性センター」という名称で男女共同参画の拠点施設を運営しています。しかし、その後男女共同参画に関する法整備も進み、社会情勢も変化していく中で、女性センターに求められる役割も変わりつつあるのではないのでしょうか。現在、都内で「女性センター」という名称を使用しているのは、38区市のうち8区市のみとなっていることからその流れは感じられます。また、「女性センター」の名称は女性だけを対象とする施設であるとの誤解を招き、男性は入りづらいという声も少なくありません。女性センター設置当初は、その目的は主に女性の地位向上と女性の学習の場の提供でしたが、男女共同参画社会の最終目標である男女平等社会をつくるためには、男性の参画が不可欠です。また、施設の利用者を増やす上でも男性の利用率の向上は必須です。

「男女共同参画」という用語がある程度定着した現在、男性も利用できる施設であることを示す名称を求める機運も高まってきていると考えられます。ここは思い切って、他自治体も使っていないような名称、たとえば「女性男性センター」というセンター名にして、「おや?」と思わせることで認知度や記憶を高めるような名称を工夫してもいいかも知れません。公募によって決まった愛称である「すくらむ21」については、女性同士の連帯、女性と男性の共同参画も含意するような、しかも21世紀を射程に入れた前向きな名称といえますが、センター名の変更と同時に、センターのコンセプトがひとことでわかる愛称に変更することも

検討いただければと思います。女性センターの認知度向上や市民が男女共同参画について学ぶ機会とすることを兼ねて、女性センターの愛称は公募することを提案します。

(2) DV防止に関する講座や啓発事業の実施について

メディアなどでも「DV」という言葉は一般的に使用されるようになり、以前に比べてもDVという言葉の認知度は上がっている一方で、市民の間では、まだDVは「身体的な暴力である」とのイメージが強く、「自分には関係ない」と思われがちです。そのことから、DV、デートDVについての講座を開催しても参加者はあまり多くないように感じられます。ただし、DV、デートDV関連の啓発講座は、たとえ参加者が少なくても毎年実施することに意味がありますので、今後も継続的にDV、デートDV関連の講座の実施を求めます。また、デートDV講座の実施にあたっては、既に市内の大学と連携して実施をしていますが、今後は高校や中学校にも連携を広げ、より若いうちにデートDVについて学ぶことができるよう検討してください。さらに、他の自治体では、デートDVに関する小冊子を作成して小中学生に配布している例もあります。府中市でも啓発用の小冊子の作成や配付を検討してください。

(3) 男女共同参画条例の制定について

平成11年（1999年）に国は「男女共同参画社会基本法」を制定し、男女共同参画社会の実現は、「21世紀のわが国の最重要課題」であるとしています。府中市は、同じ平成11年（1999年）に「男女共同参画都市宣言」をして、男女共同参画宣言都市となっています。また、市長を本部長とする「男女共同参画推進本部」を設置し、「府中市男女共同参画計画～男女が共に参画するまち 府中プラン」を策定し、「府中市男女共同参画推進協議会」を設置して市民からの意見を受け入れ、男女共同参画のまちづくりの推進に努力しています。今後は、更なる男女共同参画の拡大・促進のため、「男女共同参画（男女平等推進）条例」の制定を要望します。「条例」を制定することで、男女共同参画を推進・実現する具体的な基本方針・法的規定を明示することとなり、男女平等への取り組みや協力を担保する市や地域や市民等の責務についても規定され、男女共同参画のまちづくりをさらに推進することができます。国の「基本法」の制定後、平成28年（2016年）4月現在、千葉県を除く全都道府県において「条例」が制定され、東京都では14区11市が「条例」を制定しています。近隣では、小平市に続いて、2017年度より武蔵野市で条例が施行される見込みです。府中市が「条例」を制定することによって、広く市民の男女共同参画のまちづくりに対する関心が高まり、男女平等の実現に少しでも近づくことになると考えます。

(4) 第6次府中市男女共同参画計画の策定に向けた市民意識調査の実施について

現在の第5次府中市男女共同参画計画は、平成27年度～31年度を計画期間としており、毎年、各施策の進捗状況についての第三者評価を実施しておりますが、平成30年度には、次の第6次計画策定に向けて動き出すこととなります。計画の策定にあたっては、実態を把握することが不可欠ではありますが、府中市では、平成10年（1998年）を最後に男女

共同参画に関する市民意識調査を実施しておりません。その間、男女共同参画社会基本法や配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律が施行され、女性の貧困の問題、2011年の東日本大震災を経験したことによって「女性と防災」が大きなテーマになってきているなど、男女共同参画を取り巻く社会環境は大きく変化しており、またそれに関する市民の意識やニーズも変わってきています。また、LGBTなど性的マイノリティに関する理解も深まり、多文化化におけるダイバーシティの問題も社会的関心を呼んでいます。数年に一度、市政世論調査の中で男女共同参画に関する設問を設けていますが、基本計画の策定にあたっては、より専門的な設問を設けた市民意識調査及び府中市における出生率や女性の雇用率等の実態調査を実施することが必要と考えますので、それに必要な予算措置等について検討してください。

【会長】

皆様の意見を入れた事務局案に付け加えさせていただきました。施設名称を間違えてすみませんでした。スクエア21となると、説明が変わりますので、「女性たちの場を意味し、21世紀を見据えた前向きな名称と言えますが」としまししょうか。いかがでしょうか。

【委員】

2ページの最後に「計画の策定にあたっては、実態を把握することが不可欠ではありますが」と、ではの「は」が何故あるのでしょうか。これは、実態を把握することが計画の策定には不可欠であるということは誰しも認めることですが、府中市はやっていないという論理展開なのですが、「不可欠ではありますが」だと不可欠ではあるけどそれがなくてもできますね、というように受け取れるので。ここは、「不可欠ですが」が良いと思います。

【会長】

不可欠であるにも関わらずやっていないということですよ。 「不可欠ですが」が良いと思います。他にはいかがでしょうか。

【委員】

名称のところで「女性男性センター」と入れたのはすごく良いと思うのですが、「「おや？」と思わせることで」という一文はなくても良いのではないのでしょうか。

【会長】

なくても構わないですね。「～というセンター名にして、認知度や記憶を高めるような名称」としまししょうか。

【委員】

その前の「ここは思い切って」と言った後に「女性男性センター」というのも気になります。「思い切った名称を考えて」であれば良いのですが。

【会長】

これは口語調になっていますね。「思い切って」もいらぬですね。「他の自治体も使っていないような、例えば、女性男性センターというセンター名を」という感じでしょうか。

【委員】

「例えば」を先にして、「例えば他自治体も使っていないような、女性男性センターというセンター名にして認知度や記憶を高めるような工夫をしても良いかもしれません」としてはいかがでしょうか。

【会長】

そのようにいたしましょう。条例についてはいかがでしょうか。

【委員】

今がチャンスではないかと思います。私は、この協議会が懇談会から協議会に格上げされたことは大きな事だと思っています。市の中で女性センターや男女共同参画の役割が変わってきたということだと思えるのです。これをチャンスにこのタイミングで実現できるのではないのでしょうか。また、他の市や区がしているという状況で府中市だけ残ってしまいますよね。

【委員】

今年は、市長の3つのテーマのうちの一つが「活力と飛躍」ですから、活力と飛躍で思い切って名称を変えて条例も作っていただきたいですね。

【委員】

一つのチャンスですよ。これまでの府中市の条例は、他市町村の半分位が出来てから作っているような印象があります。そういった中で、例えば、条例にクォータ制を入れるとかすると非常にインパクトがありますよね。今、都が改革するといって一生懸命やっていますが、府中市もその位やればマスコミも取り上げるし、市民の方も「府中頑張っているな」ということがあると思います。ただ条例作るだけではなく、それをチャンスにして色んなことをやった方が良くはないかなと思います。特にやっていただきたいというのは、女性議会です。そういうアピールをするものを行政主導でやっていただくと、もっと男女共同参画が進んでいくのではないかと思います。

【事務局】

条例に関しては、この協議会また前身の懇談会の方でもお話をさせていただいたことがありますが、男女共同参画の条例となるとどうしても理念条例になってしまいます。今、男女共同参画に関しては行動計画がございますので、言うなればこれが条例代わりで、5年ごとにそれぞれの時代に応じたものに変えていき、これを推進していくことが今の府中市の男女共同参画にとって必要なことだということになります。今、事務局として条例をすぐに設置するかしないかということで考えた場合には、今は計画の方を重視したいと考えているところがございます。

【会長】

市は理念的な条例よりも実行性のある計画を重視しているということですが、協議会から条例が必要という提案は出せるので答申には入れたいと思いますが、いかがでしょうか。先ほど委員が言われたように、ただの条例制定だけでなく注目を集めるようなものということ

で、条例には理念ももちろんですが、クォータ制等を盛り込むように考えることは可能でしょうか。他にはいかがでしょうか。

【委員】

そういうことをチャンスにして、女性議会などもやって良いと思うのですよ。色んなところでやっていますからね。女性議会をやって、皆さんにもっと関心を持っていただくというようなことをされたら良いのかなと思います。

【会長】

次年度の提案等に盛り込んでいけたらと思いますので、記録に残してください。他にはいかがでしょうか。

【委員】

(2)のDVについてですが、いきなりDVとせずに、どこかにドメスティック・バイオレンスと入れた方が良いと思います。

【会長】

「ドメスティック・バイオレンス(以下、DVとする)」などを入れましょう。

【委員】

(4)のLGBTの話の後の「多文化化におけるダイバーシティの問題も社会的関心と呼んでいます。」とありますが、ダイバーシティの問題という表現は、ダイバーシティが悪いことのような感じがするので、もう少し違う用語にできないでしょうか。

【委員】

「推進」はいかがでしょう。

【会長】

「ダイバーシティの推進も社会的関心と呼んでいます」にしましょうか。その前の「多文化化における」も「多文化化による」が良いですね。他にはいかがでしょうか。3月3日に答申をします。後から気付いたことがあれば来週中に事務局にお願いします。

それでは、もう一つの審議事項である市民企画講座事業について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

平成29年度府中市男女共同参画市民企画講座についてご説明いたします。市民企画講座の実施要件は、男女共同参画推進のための講座であること、おおむね30人以上を受講対象としており、多くの市民が関心を持ち話題性があると見込まれること、開講時間がおおむね2時間程度であること、市の他の施策による援助等を受けていないこと、講座の会場が原則として府中市女性センターであること、当該年度内に完了すること、3万円以内の委託料で実施できることとございます。平成28年12月21日から29年1月20日までの1ヶ月間募集をし、14事業の応募がございました。資料2は事前に送付させていただいた資料でございますので、概要の説明をさせていただきます。

(資料2読み上げ)

なお、平成29年度市民企画講座の予算額は今のところ27万円の予定ですが、この14事業の申請金額の合計は37万7300円となっております。以上の14事業につきまして、男女共同参画意識の啓発及び普及の促進を図る講座として採用することに適しているかどうかを基準に採点をお願いします。

資料3の府中市男女共同参画市民企画講座事業選考点数配分表をご覧ください。項目1. 目的については、男女共同参画社会を推進していくことを目的としているかの観点から、A特に優れている、Bやや優れている、C適している、Dやや適していない、E適していない、の5段階で評価をお願いします。2. 内容では、市民が参加しやすく、男女共同参画の視点に立った内容であるか。また、講師・開催日等も適切であるかの観点から、AからEの5段階の評価をお願いします。3. 成果では、実施することによって、男女共同参画についての理解を深めてもらうことができるかの観点から、AからEの5段階の評価をお願いいたします。資料4の採点表に記入いただき、事務局にご提出ください。協議会のご意見及び採点点数の平均点に基づき、予算の範囲内で29年度の市民企画講座の決定をさせていただきます。各委員の平均点が同一となった場合などには、会長・副会長とご相談をさせていただきたいと思っております。なお、委員の皆様には、採点結果と決定事業について郵送をさせていただきます。

【会長】

一通りの説明をいただきましたが、ご意見や質問はございますか。同じ人が二つ応募しているのがありますが、重複は良いのですか。

【事務局】

特に規定はございません。

(各委員採点)

【委員】

議事録についての修正をよろしいでしょうか。7ページの9行目に、「3歳神話」とあるのですが、これは「3歳児神話」ですね。

【会長】

「3歳児」と直していただきましょう。

【委員】

あと、13ページに「ジェンダーとか、ジェンダーギャップでGG」とあるのは、ジェンダーギャップ解消センターでGGK」という発言でした。

【会長】

ジェンダーギャップ解消センターですね。「ジェンダーギャップ解消センターでGGKとか」と修正をよろしいでしょうか。

では、次年度の市民企画講座の採点も終わりました。報告書は3月3日に会長・副会長で

手渡しをしてきます。それでは、審議事項2その他について事務局の方からお願いします。

【事務局】

先ほど会長からもお話がございましたが、報告書につきましては、3月3日金曜日に会長・副会長から市長に答申いただくこととなっております。委員の皆様には、後日、本日の議事録、市民企画講座の採点表及び決定事業、報告書を送付させていただきます。2年に渡りご協議いただきました男女共同参画推進協議会も本日が最終回となります。最後に事務局を代表いたしまして、市民協働推進本部長の中川より挨拶をさせていただきます。

(市民協働推進本部長挨拶)

【会長】

それでは、閉会といたします。2年間に渡ってご協力ありがとうございました。